



YEAR
ANNIVERSARY

創業40周年記念誌



東邦銀行グループ
東邦リース株式会社

目次

- ◆ご挨拶…………… P 1
東邦リース株式会社 代表取締役社長 青木 智
- ◆祝辞…………… P 2
株式会社東邦銀行 取締役頭取 佐藤 稔 様
- ◆会社概要・組織図…………… P 3
- ◆東邦リース40年の沿革…………… P 4
- ◆リースとサステナビリティ…………… P 6
- ◆事業紹介…………… P 7
- ◆本社・事務所紹介…………… P 9

- ◆業績の推移…………… P18
- ◆コーポレートデータ…………… P20

ご挨拶



代表取締役社長
青木 智

ご挨拶 ～ 40周年記念誌の刊行にあたって～

弊社は、2025年3月20日をもちまして創業40周年を迎えることとなりました。これもひとえに1985年の創業以来、弊社をお引き立ていただいた地域のお客さまをはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

また、2011年の東日本大震災からの復興、近年では新型コロナウイルス感染症の蔓延など、幾多の困難を乗り越えてこられた歴代の役職員の皆さまのご尽力に、改めて敬意と感謝を表します。

さて、弊社は創業以来、リース事業を通してお客さまの事業拡大や経営課題の解決に努めてまいりました。近年では、SDGs・ESGへの取り組み促進やカーボンニュートラルなどの課題解決を支援するなど、「お客さまのサステナビリティとレジリエンス強化」を全面的にサポートしてまいりました。

弊社は創業50周年に向けて、多様なステークホルダーの皆さまとの連携により新しい価値を共創し、リース会社だけでは実現できない多面的なサービスをお客さまに提供してまいります。

弊社は、「リース会社の役割を超えて」社会課題の解決と地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

今後ともご愛顧、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

～東邦リースは「笑顔あふれる福島、希望に満ちた福島」のため動き出しています。～

地域のレジリエンス強化に向けて



祝 辞



東邦銀行 取締役頭取
佐藤 稔 様

創業40周年の記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

この40年の歩みを振り返りますと、皆さまの絶え間ない努力と情熱によって、確固たる実績を築いてきたことと存じます。東邦リースの設立から今に至るまで数々の厳しい経営環境を乗り越え、常に挑戦し続けてきたことに敬意を表します。

昨今、気候変動への対応として脱炭素社会への移行が求められる環境下、サステナブル経営が事業価値向上につながる新たな時代を迎えております。

東邦リースは、東邦銀行グループの中核会社として、2024年度からスタートした長期経営計画「TXPLAN 2030」の中で、リース業務を通じて地域企業の脱炭素・省エネ関連設備投資を活性化し、持続可能な地域社会の実現に貢献することを目指しています。

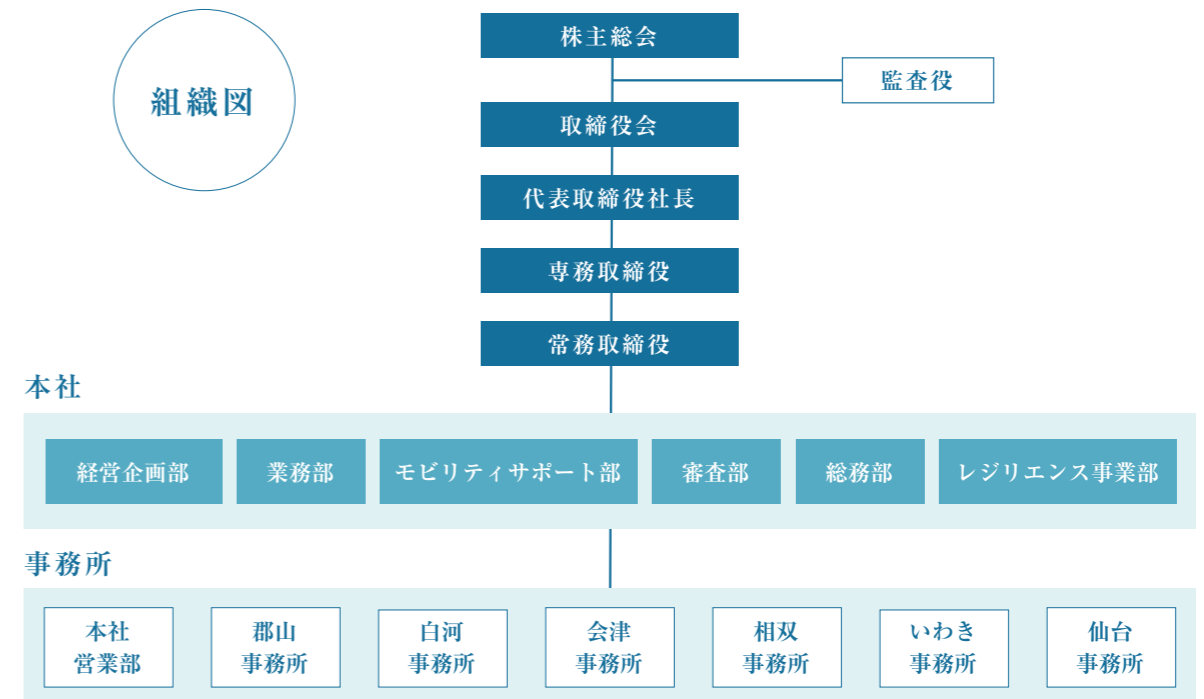
東邦リースがこれまでに培った専門性を活かし、地域・お客さまのニーズに応える様々なサービスを提供することで、これからも地域にとって欠かすことのできない地域社会に貢献する会社になると確信しています。東邦銀行グループとして、今後も共に成長し、福島のみる未来を共に創っていきましょう。

末筆ながら、御社の今後ますますのご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

会社概要

- 名 称 東邦リース株式会社
- 所 在 地 〒960-8101 福島市上町5-6 上町テラス3階
TEL 024-521-1441 FAX 024-524-0840
- 代 表 者 代表取締役社長 青木 智
- 資 本 金 6千万円
- 事業内容 ◆リース事業 ①各種機械、器具、建築物付属設備、車輛、船舶、航空機および無体財産権等の賃貸ならびに売買業務
②前各号に附帯する一切の業務
◆投資事業 ①株式等への投資 ②前各号に附帯する一切の業務
- 設 立 1985年3月20日
- 決 算 期 3月31日(年1回)
- 株 主 株式会社 東邦銀行 東邦情報システム 株式会社
東邦信用保証 株式会社 株式会社 東邦カード

組織図



歴代社長

就任期間	社長名	就任期間	社長名
1985年4月～1991年6月	初代社長 平澤恒男	2006年6月～2008年6月	第6代社長 小澤啓良
1991年6月～1996年4月	第2代社長 白石義嗣	2008年6月～2014年6月	第7代社長 斎藤巧
1996年6月～1998年6月	第3代社長 石原信義	2014年6月～2017年3月	第8代社長 長谷川敏朗
1998年6月～2002年6月	第4代社長 星野勝男	2017年3月～2021年6月	第9代社長 阿字聡
2002年6月～2006年6月	第5代社長 吾妻健治	2021年6月～	第10代社長 青木智

東邦リース40年の沿革



リースとサステナビリティ

1985年の創業以来、弊社はリース事業を通してお客さまの事業拡大や経営課題の解決に努めてまいりました。近年では、SDGs・ESGへの取組み促進やカーボンニュートラルなどの課題解決を支援するなど、地域資源を最大限に活用した脱炭素社会構築への取組みを推進し、サステナブルな社会を実現するため多様な分野で貢献しています。

◆ 社会課題を解決する手段としてのリース

リースは企業や官公庁の設備導入支援を行い、経済成長を支えます。また、社会での様々な課題の一つひとつに向き合い、課題解決の糸口をステークホルダーと共に探っていきます。社会全体の環境に対する意識が大きく変わる中で、物件の適正処理に努め、環境面への配慮、環境負荷の削減に取り組んできました。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により非接触・非対面など、いままでになかった対応を迫られることとなった課題に対して、初期投資を心配することなく社会状況に対応した設備を素早く導入し、事業継続のための支援を行っていきます。

◆ 社会から必要とされるリース

今日の社会における課題は、地球温暖化、プラスチックの適正な利用と廃棄、エネルギー問題等、一朝一夕には解決しがたいことが沢山あります。

サステナビリティへの対応が世界的に求められ、環境・社会・経済との分野において多くの課題があるなか、環境配慮型の省エネ・再エネ設備の導入による脱炭素対応や、資源環境のための廃棄物削減への取組みなど社会へ貢献できる機会は多く存在します。

◆ ともに成長していけるパートナー

お客さまや社会の課題に寄り添い解決していく過程において、ステークホルダー（お客さま・メーカー・地域・社会等）と関わることで多くのことを学び、善きパートナーとして成長していきます。

◆ 持続可能な社会の実現に貢献するリースへ

リースはモノを貸すことを基本にモノに関わるサービスも共に提供し、業務のアウトソーシング効果によりお客さまの業務負担軽減に貢献しています。

さらに脱炭素課題や再生可能エネルギー、地方創生事業より資源循環に貢献すべくリース終了物件の再販事業などに挑戦しています。

環境を守り、そして誰もがいきいきと輝ける社会を実現し活気ある経済を支えていくために、新たなソリューションの提供により持続可能な社会の実現に向けて積極的に貢献していきます。



サステナブル取引（SDGsリース・ESGリース）

国および福島県では「2050年までのカーボンニュートラル(温室効果ガスの実質排出ゼロ)」を目指すことを宣言しています。大手企業を中心に脱炭素化に対する取組目標を掲げる動きが急速に進展しており、今後、中堅・中小企業においても脱炭素への対応が求められる可能性が高まっています。

弊社は、世界的に求められている脱炭素社会実現への寄与および課題の解決を通じて、福島県の持続可能な成長に貢献するためサステナブル関連のリースへ取組んでまいります。

どうほうSDGsリース（寄付型）

2023年6月9日よりリース取引を通じてお客さまのSDGsの達成に向けた取組みを支援する「どうほうSDGsリース（寄付型）」の取扱いを開始しました。

本リースでは、お客さまが省エネ・脱炭素機器等をリースで導入する際、東邦リースがリース契約額の0.1%相当額を、SDGsの達成に向けた取組みを行っている団体等へ寄付を行い、環境負荷の低減や、持続可能な地域社会の実現に貢献するものです。

【寄付先】「社会福祉法人福島県社会福祉協議会」会長：北村清士（寄付日：2023.10.2）

※県社協より「ふくしま子ども食堂ネットワーク(代表：江川和弥)」へ助成金として交付

「福島県環境保全基金」福島県 副知事：鈴木正晃（寄付日：2024.5.15）

※環境保全に関する知識の普及や実践に向けた各種活動の支援

「郡山市すこやか子育て基金」郡山市 市長：品川萬里（寄付日：2024.10.24）

※次代を担う子ども達が健やかに心豊かに成長する環境づくりを目的に子ども子育て世代を広げ



社会福祉法人福島県社会福祉協議会



福島県環境保全基金



郡山市すこやか子育て基金

「脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業」(環境省)

地域社会の活性化や脱炭素社会の実現に貢献するため、2021年より環境省のESGリース促進事業の認定事業者となりました。また、翌年よりESG/SDGsへの取組姿勢や取組方針の制定等が評価され補助率が1%上乗せ対象となるリース事業者に指定され、さらに2024年には全国で10社のみの「優良取組認定事業者」に東北に本社を置く事業者として初めて認定されました。

【ESGリース促進事業の概要】

ESGリースは、脱炭素機器のリース料低減を通じてお客さまの脱炭素化に向けた取組みを促進し、CO₂削減等による地球環境保全に資することを目的とするものです。お客さまが基準を満たす脱炭素機器をリースにより導入した際に、機器・装置の内容によって総リース料の2~4%の補助金が国から交付されます。

【優良取組認定事業者】

指定リース事業者であって、脱炭素機器のリースに関し顕著な実績や取組みを行っている事業者に対し、環境省より優良取組認定が行われます。優良取組認定事業者の認定における評価基準は、「先進性」「波及性」「ESGリースの実績」「主体性」「行動変容」「その他加点要件」となっています。



優良取組認定
ロゴマーク

レジリエンス強化（プロポーザル業務）

地方では人口減少・少子高齢化が大きな課題となっております。生産年齢人口の減少にともない地域経済の縮小が見込まれる中で、弊社が企業として成長するため、そして、地域に更に貢献していくためには、事業領域の拡大が必要となります。そこで、まず拡大すべき事業領域の1つとしたのが、「自治体取引」の強化です。

今や、SDGs・ESG・BCPについては、民間企業の重要な経営課題ですが、行政においても例外ではなく重要な政策課題となっています。

特に脱炭素・カーボンニュートラルなどを目的とした電気自動車の導入や公共施設照明のLED化などは、行政においても優先度の高い事業となっています。そして、それらを実施するためのプロポーザルにおける「事業役割」などはリース会社はその役割を求められることが多く、弊社にとってのビジネスチャンスであるとともに、地域経済の持続的な発展に貢献できると判断し、これらに積極的に取組むことといたしました。

まず、最初に取り組んだのが、「令和5年度郡山市電気自動車及び充電設備保守点検付賃貸借」業務です。2022年8月に締結した「脱炭素社会の構築ならびに地域経済活性化の実現に向けた連携協定」をベースにコンソーシアムメンバーを組成し応募した結果、弊社グループの提案が採用され、郡山市に対して電気自動車・充電設備各30台他を納入いたしました。



電気自動車

また、郡山市につきましては、「令和5年度公共施設照明LED化業務」「令和6年度公共施設照明LED化業務」に2年連続で応募し、郡山市内の合計49施設の照明のLED化に取り組んでおります。LED化業務については、特に地元事業者との連携・協力、地域内での経済循環を重視し、「令和6年度」の業務では、施工体制として、郡山市内の施工会社15社（112名）、電材会社8社にご協力をいただきました。

郡山市以外のプロポーザルでは、県内1自治体の公共施設照明のLED化業務の実績がありますが、まだまだ弊社が貢献できる余地はありと考え、県内の各自治体へ電気自動車の導入、LED化の提案を継続的に行っています。

プロポーザル業務は、単にリースをするという経済行為にとどまらず、様々なパートナーと連携して、多面的な価値を創造し提供する行為でもあり、まさに「リース会社の役割を超える」ものとして、今後も取り組んでまいります。



LED照明（イメージ）



『脱炭素社会の構築・地域経済活性化の実現』に向けた連携協定締結式

東邦リーストレーニー



第4回東邦リーストレーニー

「東邦リーストレーニー」は、1～2日間の集合研修と6ヶ月間の実践フォロー研修を組み合わせたトレーニー制度で、2023年3月の第1回集合研修開催を皮切りに、2024年11月には第5回集合研修を開催しています。

開催にあたっては「東邦銀行グループ営業力強化のための継続的な営業店若手行員の人材育成」に向け、東邦銀行の営業店若手行員と弊社営業担当者との帯同訪問による実践的なOJTの実施により、リース知識の習得やリースに対する意識醸成、リース実務のスキルアップを図っています。

第1回～第4回のトレーニー受講者数は全51名（男性37名、女性14名）で、これまでの受講者全員がトレーニーを修了しており、現在も第5回の受講者16名が全員修了を目指し、日々、リース推進に邁進しています。

弊社のKPIとして、2024年度から2029年度の6年間で、東邦銀行と累計150名の人材交流を行うこととしており、今後も引き続き「東邦リーストレーニー」を実施してまいります。

サステナブル

東邦銀行グループとして「サステナビリティ宣言」のもと、SDGsやESGの視点から地域社会の活性化や脱炭素社会の実現に貢献するため、2021年より環境省のESGリース促進事業の認定事業者となりました。また、翌年よりESG／SDGsへの取組姿勢や取組方針の制定等が評価され補助率が1%上乗せ対象となる



本社

リース業者に指定され、さらに2024年には指定事業者120社のうち10社のみの「優良取組認定事業者」に認定されました。

2023年6月より脱炭素機器導入の更なる支援のために「とうほうSDGsリース(寄付型)」の取扱いを開始しました。弊社がリース料の一部を半年毎にSDGsの達成に向けた取組みを行っている団体等へ寄付することで、環境負荷の低減や持続可能な地域社会の実現に貢献しています。

また、リース終了物件を単に産業廃棄物として処理するのではなく、循環型社会および資源環境保全のため廃棄物削減に貢献すべく、リユースの徹底を図り中古販売先の強化にも取り組んでいます。

これからも新たなソリューションの提供により、地域社会の課題解決と地域経済の持続的な発展に積極的に貢献してまいります。

モビリティサポート

弊社の自動車リースは、創業から9年後にスタートしました。

当初は、自動車リース関連を専担に扱う「自動車部」として業務を行ってまいりましたが、近年SDGsの持続可能な社会の実現ニーズの高まりや、脱炭素の流れが加速し、自動車の動力も電気や水素などクリーンエネルギー化されるなど、今後も様々な変革が予想され、それに機動的に対応していけるよう、2024年7月にモビリティサポート部に改組しました。

近年の取組みとして、BCPプランの一環として、災

害時にも緊急電源として活用できる、EV車とパソコンの導入をセットにした「BCPリースパッケージ」や、地球環境のための脱炭素を目指し、ワンストップでEV車、充電設備、ソーラーカーポート、蓄電池の導入等が可能な7社による「脱炭素社会の構築ならびに地域経済活性化の実現に向けた連携協定」により、EV車含むインフラの提供を商品化しております。

これからの人口減少や高齢化進展に伴う、人手不足が予想されるなか、2024年10月よりメンテナンス管理会社を3社体制に拡充し、お客さまの選択肢および提案幅を拡大することで、様々なお客さまのニーズに添えていくとともに、自動車管理業務のアウトソーシングの高度化を図っています。

レジリエンス

地域の更なるレジリエンス強化に取り組むことを目的に、2023年7月に「キャピタル事業部」を改組して「レジリエンス事業部」を設置しました。

お客さまのレジリエンス強化に向け、ファンド業務を通して、企業の復興・再生支援、および事業承継支援などに取組んできましたが、それらに加えて、2023年からは、自治体のカーボンニュートラル促進や自然災害対策に寄与すべく、電気自動車の導入、公共施設照明のLED化のプロポーザル業務の取組みを開始しました。

プロポーザル業務の取組み開始以降、自治体に対して、電気自動車・充電設備各30台の納入、50施設のLED化の実績がありますが、いずれも地元の事業者と

連携を図るとともに、地域内での経済循環の実現を目指しました。

今後も幅広い分野のパートナーとの連携によって多面的な価値を創造し、社会課題の解決と地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

40周年から50周年へ

弊社は2025年3月に創業40周年を迎えるにあたり「お客さまの笑顔」と「地域経済の持続的な発展」を基本姿勢とし、東邦銀行との連携を軸に福島県を中心として県内外で総合的なリース事業を展開してまいりました。

また、弊社の歴史を振り返り、諸先輩方が築き上げた伝統を継承していくとともに、これまでの業務経験から得た幅広い金融知見と銀行本体のネットワークを活かした、真にお客さまに寄り添ったリース提案によるニーズ実現と地域発展に尽力してまいります。

これからの10年、50周年に向け、弊社を育てていただいたお客さまへの「感謝」を第一とし、社員一人ひとりが「笑顔と働き甲斐」を持ってお客さまに「とことん寄り添い」、東邦銀行グループとして「リース会社の役割を超えて」取組むことで、先人から受け継いだ「東邦リース」を更に発展させ、次の世代へ継承していくことをお約束いたします。



本社 社員



若手懇談会

本 社 営 業 部

本社営業部は弊社創業とともに設置され、以来、弊社本社所在地、東邦銀行本店所在地の営業拠点として営業活動を展開してまいりました。

現在は福島県内県北ブロック（福島市、伊達市、伊達郡、二本松市）と米沢市を営業エリアとしております。現在は総勢7名体制でうちプロパー社員が3名となりますが、2名は入社3年以内という非常にフレッシュな人員構成です。今後も若手社員の配属が想定される部署であり、リース業務習得、社会人としての人間力養成という人材育成の責務も担っている部署です。

業容面での当部の特徴としては、東邦銀行本店営業部所在地ということもありリース浸透率が他事業所に比較して高いという点があります。また、諸先輩方の積極的な営業活動の結果として自動車リース・自動車割賦の管理台数が非常に多いという点があります。ともに弊社の取引先すそ野拡大、収益確保に大きく寄与しており、現在の当部の営業基盤となっております。

当部が設置された当時の世相としては、ドル高是正を目的としたプラザ合意がなされ、1989年12月29日には東証の終値で38,915円87銭とバブル景気が拡大していく時期でした。以降はバブル崩壊、東日本大震災等経済面では大きな浮き沈みがあり、失われた30年と言われた時代でもあります。その中で当部をここまで育てていただいた諸先輩方に改めて御礼申し上げます。

2024年4月に東邦銀行で長期経営計画「TX

PLAN 2030」が策定され、リース業務については第1の成長ドライバ、コビジネスとして位置づけられました。更なる発展を期待される分野であると理解しております。

現在は世界的にサステナブルな地域社会の構築が求められています。地域の脱炭素化、福島の持続的な発展に貢献するために、「SDGsリース(寄付型)」「ESGリース」を更に推進していく所存です。

具体的には、地域社会に貢献する会社となるために、今まで以上に東邦銀行と連携しお客さまの情報・ニーズをキャッチし、お客さまと面談し、お客さまへ有益な提案を実施します。そのために当部全体でのお客さまへの提案能力向上、自己研鑽に努めていきます。

県北ブロックは吾妻山、安達太良山という雄大な自然、飯坂・土湯・高湯・岳等の温泉地、磐梯吾妻スカイライン等の観光地を有しており、米沢市は上杉氏の居城が置かれた歴史ある地域です。当部全員で40周年の先を見据え、50周年、60周年へ向けて地域の発展のために次世代に残す財産を積み上げ、持続的な発展に貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【所在地】

〒960-8101 福島市上町5-6 上町テラス3階
TEL (024) 521-1441
FAX (024) 524-0840



40th 本社営業部



第4回東邦リーストレーニング



とうほう SDGs リース感謝状 (株)安達屋旅館

郡山事務所

郡山事務所は、弊社創業4年後の1989年4月に開設、数度の事務所移転を経て、2015年に現在地である東邦銀行郡山営業部へ移転し現在に至ります。まさに、本社とともに「日本経済の失われた30年」を歩んできた事務所です。

担当地区は福島県中通り中部で、郡山市・須賀川市・本宮市・田村市・田村郡のほか、安達郡・石川郡・西白河郡の各一部地域で、東邦銀行の県中ブロック全店と矢吹・石川支店を担当店としています。

中心地である郡山市は、人口約320千人・民営事業所数約15千事業所を有する中核市で、東北を南北に貫く東北新幹線や東北道と、太平洋と日本海を結ぶ磐越線や磐越道の交わる交通の要衝として発展してきました。内陸工業や流通事業者が比較的多く、近隣の須賀川市（人口約74千人）、田村市（同34千人）本宮市（同30千人）等も含め、東北地方では仙台市に次ぐ第二位の経済圏を形成しており、地方経済のダイナミズムを感じられるのが当事務所の特徴です。

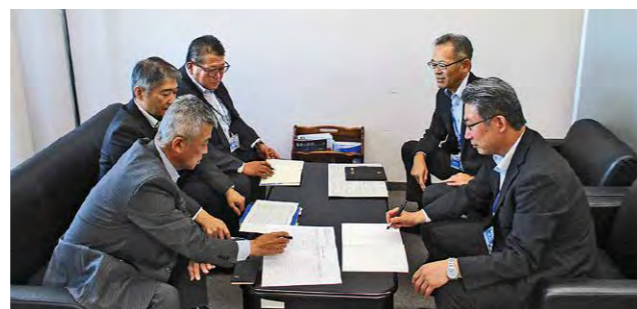
当事務所では、カーボンニュートラル等環境経営の視点や、持続可能な未来を目指すSDGsに関連した設備投資に対するリースの契約が毎年着実に増加傾向にあります。また、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言をされた郡山市においては、EV車導入や市有建物のLED化での契約を頂くなど、県内でも先進的な地域と言えます。

上記の観点から脱炭素やサーキュラーエコノミーに資する設備機器導入や更新の際は、各種補助金を

利用したリース利用の提案を積極的に行っています。何より、車輛や建機・工作機械等従来からのリースニーズにもしっかりとお応えし、私たちにできることを通して「現在」そして「未来へ向けて」地域社会に貢献してまいります。

このためには、グループ中核である東邦銀行の行員の皆様との連携が必要不可欠となります。お取引先の顕在ニーズや潜在ニーズは勿論、シーズにも着目しながら、我々とタッグを組んでお客さま本位の営業活動を徹底し、地域発展のため共に汗を流していきましょう。

最後になりますが、創業40年を迎えられましたのは、これまでに「東邦リース」そして「郡山事務所」とお取引頂いているお客さま、これまでご尽力された諸先輩方の賜物であり深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。



事業所員情報交換

【所在地】
〒963-8014 郡山市虎丸町20-58
東邦銀行郡山営業部4階
TEL (024) 938-7006
FAX (024) 938-6417



第2回東邦リーストレーニー



とうほうSDGsリース感謝状（医）むつき会

白河事務所

白河事務所は、福島県の県南、白河市を中心に9つの市町村からなる「しらかわエリア」のお客さまを中心に営業を担当しています。

みちのくの玄関口「白河関」、このエリアは首都圏からのアクセスも良く気軽に行けて魅力満載、悠久の歴史や美しい自然、白河ラーメン等ご当地グルメや知見を広げる体験など、旅の目的に合わせて何度でも訪れたいエリアです。あの渋沢栄一氏も白河藩主・松平定信公を敬愛しており、南湖神社創建に尽力されています。

当事務所は1995年7月に開設され、間もなく30周年を迎えます。

事務所は東邦銀行新白河支店2階にあり、現在1名で200社余りのお客さまを担当しています。

幅広い業界の数多くのお客さまに取引をいただいております。多様な企業経営者の方々と関わる事が出来る楽しい職場です。

ただし初めて林業のお客さまからリース契約をいただいた際、納車されたパワーショベルの写真撮影で携帯電話の電波が届かずに遭難したかと心配をかけたこともありました（笑）。

最低でも年に一度はお客さまを訪問して、現状把握と新規ニーズの確認に努めたいと考えています。

とはいえエリアが広く片道1時間以上かかる遠方のお客さまも多数いらっしゃるため、残念ながら現実的には1日の訪問件数が数社にとどまることが多々あります。

また新規のお客さまとの取引が開始できるよう

に、東邦銀行とサプライヤーからの紹介や推進リストアップ先への新たなリース需要の掘り起こしで新規開拓にも取り組んでいます。

新規先に対しては、東邦銀行行員との帯同訪問もしくは電話での訪問アポイントをとっています。ただし電話口ではアポイントを取るだけにとどめて、具体的な話は必ずお会いしてお客さまのニーズをしっかりと伺うようにしています。

電話だけでは物件見積書内容をお聞きするだけでお客さまのニーズがハッキリわからないことが多く、面談によりコミュニケーションすることで本音を引き出し、真のニーズに沿ったメリットあるワンランクうえの提案が出来るものだと考えています。

受付案件は早期対応を心がけ、各種補助金対象の有無やリース条件等は必ず本部へ事前確認と相談をするようにしています。そうすることにより事務ミス発生防止と自分では思いつかない内容での見積書作成、スピーディーな提案に役立ちます。

理想と現実のギャップも大きく反省することもあります。お客さまから感謝の言葉をいただいた時は本当にやりがいを感じます。

今後とも地域のお客さまのレジリエンスとサステナビリティ強化へ全力で取り組み、全面的にサポートしていきたく思います。

【所在地】
〒961-8047 西白河郡西郷村字裏山南24-2
東邦銀行新白河支店2階
TEL (0248) 23-9556
FAX (0248) 23-9557



第1回東邦リーストレーニー



第3回東邦リーストレーニー



企業訪問

会津事務所

会津事務所は、東邦銀行会津営業部の3階に事務所を構えています。現在、事務所人員の3名が、広範囲な会津地方全域、加えて新潟県内の東邦銀行新潟支店のお客さま、各市町村、その外郭団体等を担当しています。

当事務所を取巻く地域の特性について説明します。会津地方は、色々な観光資源があります。会津若松市には、シンボリック存在の「鶴ヶ城」、戊辰戦争における白虎隊の悲劇の舞台である「飯盛山」があります。猪苗代・裏磐梯地域では、「会津磐梯山」「猪苗代湖」、磐梯山の噴火で出来た「桧原湖」、その南東には様々な色合いを見せる「五色沼」があり人気の観光地となっています。

南会津地域には、江戸時代に会津若松市と日光今市を結ぶ会津西街道の宿場町だった「大内宿」があります。大内宿は、茅葺屋根の民家が街道沿いに立ち江戸時代の面影を今も残しています。

会津地方には多くの温泉地があります。会津の奥座敷として有名な「東山温泉」、その他「芦ノ牧温泉」「中ノ沢温泉」「熱塩温泉」「湯野上温泉」その他にも名湯・秘湯が数多くあります。

会津地方の食文化として全国的に有名なものは、日本3大ラーメンの一つとして挙げられる「喜多方ラーメン」です。「喜多方ラーメン」は、基本的には醤油ベースのラーメンですが、最近は「塩ラーメン」で有名な店舗もあります。

冷涼な会津高地での「そば」の栽培も盛んで、「山都そば」等の地産地消のそば店が多くあります。

「ラーメン」「そば」の他にも、名物かつ丼があります。会津地方以外では「煮込みかつ丼」が一般的ですが、会津地方では「ソースかつ丼」が一般的です。

会津の郷土料理として代表的なものは、「ニシンの山椒漬」「棒タラの煮つけ」「桜肉（馬刺し）」、冠婚葬祭には欠かせない料理としてホタテの貝柱で出汁を取る「こづゆ」があります。「こづゆ」は、江戸時代からの武家料理、庶民のごちそうとして広まった「おもてなし料理」です。

また、会津地方には福島県内酒蔵全体の半数以上を占める個性豊かな大小30の酒蔵があります。「米どころ会津」のコメの旨味を活かしたフルーティーな味わいが特徴です。

その他にも会津地方には「郷土玩具」として、「赤べこ」「起き上がり小法師」も有名です。

ほぼ会津地方の説明で終わってしまいましたが、当事務所では、各担当者が案件の問題点、進め方に疑問が生じた場合、事務所内で討議、本社主管部に確認し情報の共有化を図っています。そのうえで、上記の観光等を中心とした関連産業、酒蔵、「会津塗」の漆器産業、各種製造業（工場）、土木建設業等の多くのお客さまと取引を通し、サステナブルな地域社会の創造に向け貢献してまいります。

【所在地】
〒965-0042 会津若松市大町 1-10-28
東邦銀行会津営業部3階
TEL (0242) 23-4032
FAX (0242) 29-5566



鶴ヶ城



第1回東邦リーストレーニー



とうほうSDGsリース感謝状 会津乗合自動車株

いわき事務所

いわき事務所は、1987年3月に弊社初の事務所として開設され、38年目を迎えます。

担当エリアは、東邦銀行いわき市内11店舗、檜葉支店、日立支店、水戸支店の合計14店舗（16支店）を担当。南北約130kmにおよぶ幅広いエリアですが、現在、矢田目岳所長、大平馨副所長、吉田浩子副所長の3名体制で業務を行っております。

矢田目：いわき事務所はエリアが広く、業務遂行が難しいなか、お客さまとのリレーションを図り、信頼を得ることにより、経営課題解決への貢献に取り組んでいます。また、リーストレーニー、勉強会を通じ、営業店融資渉外担当者の育成に努め、営業力の強化を図っていますが、大平副所長は、日頃、業務のなかで心掛けていることはありますか。

大平：リース業務に携わって4年程度経過しましたが、お客さまは高齢者から若年者まで、いろいろな方がおられます。交渉では『説明を尽くし納得を得ること』が自分のモットーとしてありますので、リース業務を理解してもらうために、いかに、分かり易く伝えるか、かつ説明を尽くし納得いただけるか、ということを考えて、交渉しております。また、時間を掛けずにお客さまの要望に応じていきたいとも思っております。

矢田目：吉田副所長は、女性担当者のリーダーとして活躍されていますが、どのようなことを心掛けていますか。

吉田：お客さまの窓口の方は、女性も多く、気兼ねなく話せる女性共通の話題から会話を始め、そのう

ち『親戚のおばちゃんみたい』などお褒めの言葉を頂戴できており、光栄の極みです（笑）。小さなものからコツコツと大切に、お客さまの笑顔の花が開く様、心掛けています。

大平：リースは多種多様な業種と取引ができる特性があり、他業種の業界環境情報を容易に入手できる環境にあります。お客さまのニーズは何か。経営課題は。それに対して、リースを通じて提供できる商品は豊富です。SDGs、ESG、BCP等ユーザーのニーズをキャッチすることにより、多種多様な業種のニーズ・経営課題に対応することが可能で、今後も業務拡大が見込まれる職種と思います。

矢田目：いわき事務所は、これからも事務所3名のチームワークを活かし、「お客さまのレジリエンスとサステナビリティ強化」実現のため、全力で取り組んでまいります。



営業店勉強会

【所在地】
〒970-8026 いわき市平字三町目 9-3
東邦銀行いわき営業部3階
TEL (0246) 21-2577
FAX (0246) 24-5542



第4回東邦リーストレーニー



とうほうSDGsリース感謝状 (医)光風会

相双事務所

相双事務所は、弊社創業11年後の1996年5月南相馬市原町区に開設され、今年で開設29年になります。開設当初は、東邦銀行相馬支店、原町支店、原町東支店、小高支店、浪江支店、双葉支店6ヶ店のお客さまを中心にリース取引先の拡大を図ってまいりました。

そのなかで2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災では、日本国内観測史上最大規模マグニチュード9.0、最大震度6強を受け、9.3m以上の大津波と、それに伴う福島第一原子力発電所事故により、相双地区は大規模な地震災害を受けました。

当時は、被災を受けたお客さまの状況確認および津波で流された物件所在特定、また原発事故により避難指示区域内にある物件処分方法等、今までにないほどのさまざまな業務に追われました。

現在の事務所は、本社に統合され南相馬市に事務所はございませんが、災害に遭われた方々の復興のお役に立ちたいという思いで、積極的な営業活動を行っております。

具体的には、東邦銀行行員向けの東邦リーストレーニー制度を通して、行員はより一層リースの仕組みを理解し、弊社社員とともにお客さまへ訪問することで、今まで以上に「東邦銀行と東邦リース」が連携を図っております。

また持続可能な社会の実現のため、地域経済・社会の活性化に向けて脱炭素機器を活用したESGへの取り組み促進を支援し、「お客さまのレジリエン

スとサステナビリティ強化」を全面的にサポートしております。

その他にも、リース取引を通じてお客さまのSDGsの達成に向けた取組みを支援する「とうほうSDGsリース（寄付型）」をお客さまに提案することで、環境負荷の低減や、持続可能な地域社会の実現に貢献しております。

最後になりますが、当事務所は諸先輩方のご指導や培っていただいた経験を大切にするとともに、東邦銀行が掲げるパーパス「すべてを地域のために」に基づき、「できることは何でもやる」を基本的な姿勢として、相双地区発展のために取組んでまいります。今後とも、当事務所をどうぞよろしくお願いいたします。



事務所

【所在地】
〒960-8101 福島市上町5-6 上町テラス3階
TEL (024) 521-1441
FAX (024) 524-0840



第3回東邦リーストレーニー



とうほうSDGsリース感謝状 (医)相雲会

仙台事務所

仙台事務所は、2019年4月、東邦銀行の関連グループでは、唯一の県外拠点として仙台東支店の入居する高時ビルの4階に開設しました。

東日本大震災後の宮城ブロックにおける東邦銀行の店舗展開により法人のお客さまが増加し、多様化するニーズにお応えするため、リース事業の県外拠点として開設に至りました。

当事務所は、弊社の40周年を迎える2025年3月で開設後6年となり、事務所としての歴史は浅く、黎明期にあります。

仙台市内・近郊のお客さまが中心ですが、テリトリーは宮城県内一円（北は登米市、南は山元町）で、社員2名体制で営業しています。

事務所の方針として、リースは、設備の導入・更改に関する情報を得るタイミングが重要であり、お客さまと多くの接点を持ち、継続していくことを重視して業務に取り組んでいます。

リースのご提案は、お取引先数がまだ少ない現状もあり、弊社とお取引の無いお客さまへの東邦銀行行員との帯同訪問をきっかけとした訪問継続により実施しています。

お客さまのニーズ把握に関しては、東邦銀行行員との連携強化が重要です。弊社で2023年3月から開始した東邦銀行若手行員を対象としたリーストレーニー制度により、リースに対する意識の醸成が今まで以上に図られ、リース紹介案件は着実に増加しています。

宮城県は、仙台を中心とした大きなマーケットが

ありますが、県外の環境下、メインバンクのお客さまは限られており、リースのご契約には、レートもさることながら、他の要素（提案力・スピード等）が求められます。

無借金で全くリースに興味のないお客さまへリースのメリット（動産保険・補助金の活用・費用の平準化・減価償却スピードのコントロール等）をご案内し、迅速な対応にも評価いただき新規でお取引開始いただいた例や多様化する資金調達手段の一つとして、リースから取引開始し、一定期間経過後に銀行取引に展開した例もあります。これからの10年で、黎明期から成長期へと転換させていくためにも、お客さまとの更なるリレーションの強化を図っていく必要があります。

循環型・ストック型社会の形成へ向けた時勢もあり、リース事業は成長が期待される分野であり、今後も多様化するお客さまのニーズにお応えし、お役に立てるよう、東邦銀行グループ一体となり地域の皆さまに貢献してまいりたいと考えております。

【所在地】
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代3丁目2-14 高時ビル4階
TEL (022) 353-7115
FAX (022) 231-5507



第3回東邦リーストレーニー

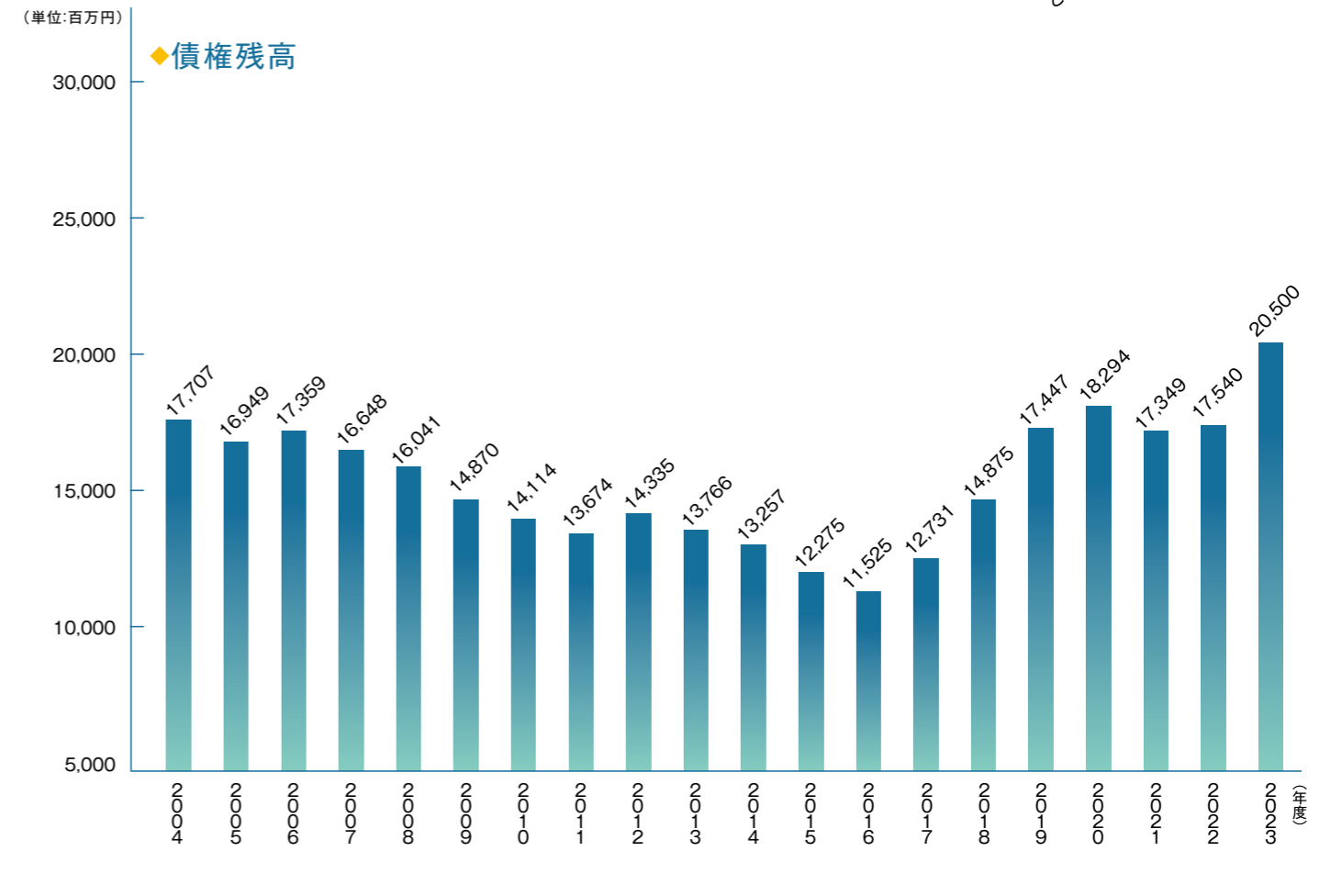
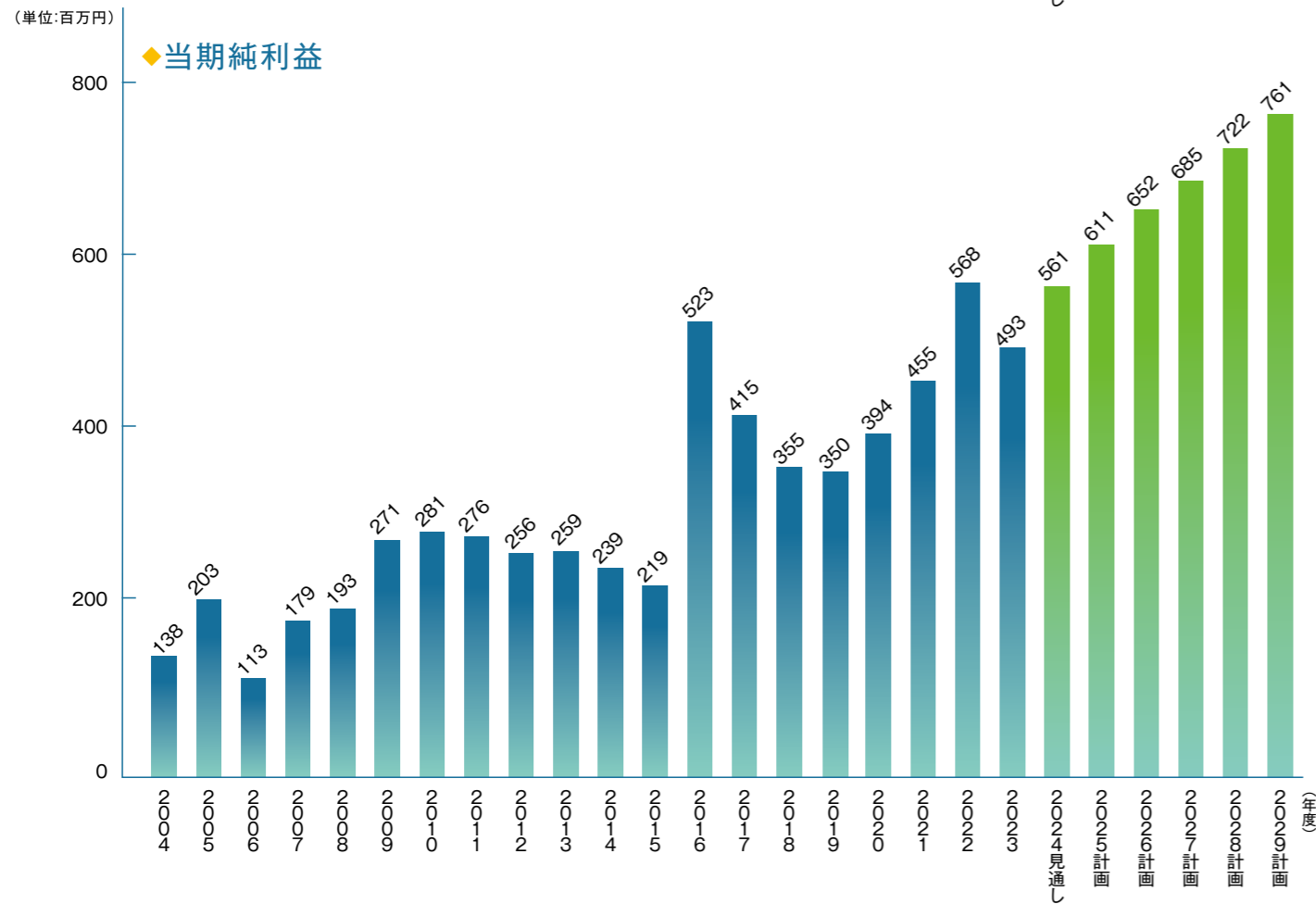
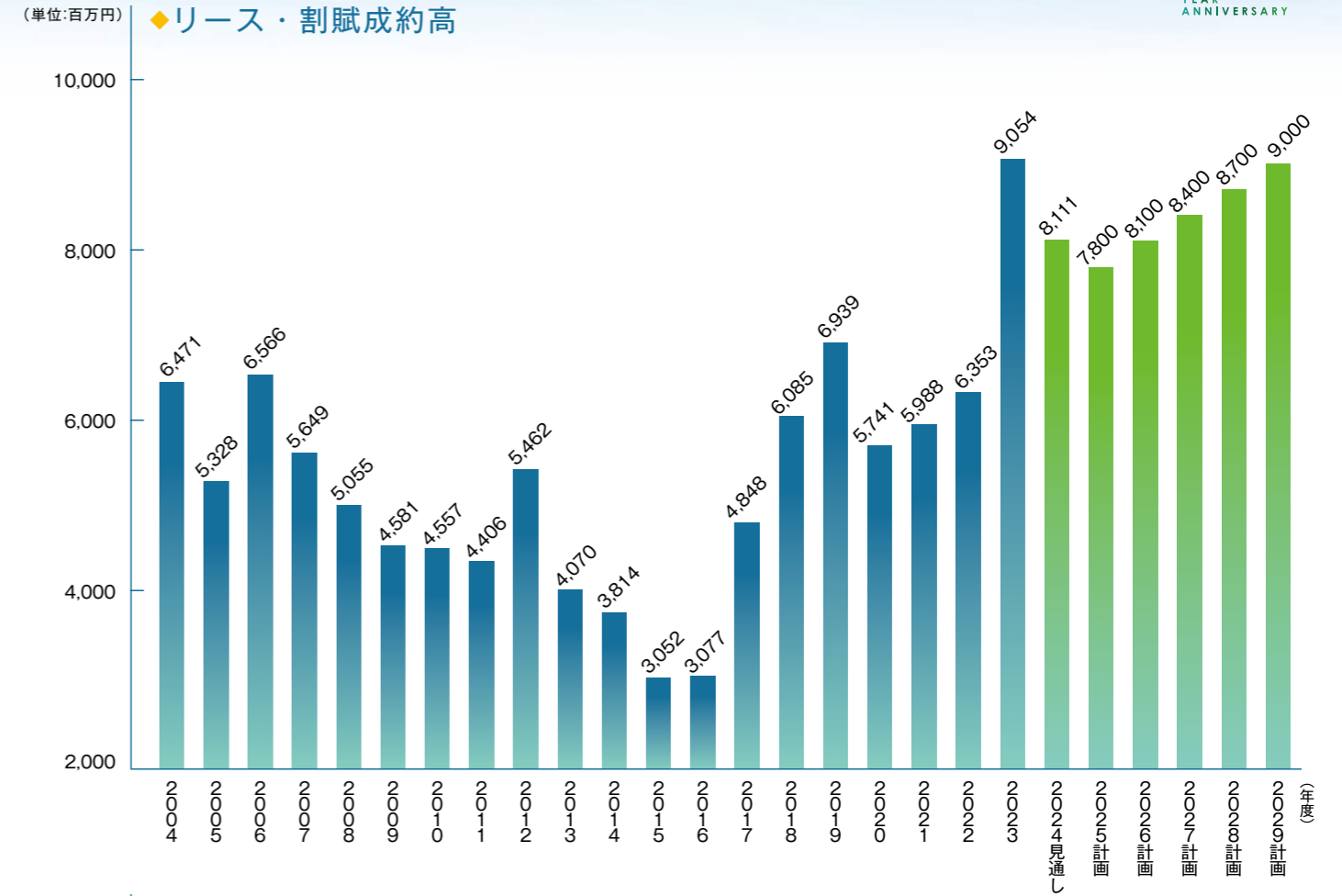
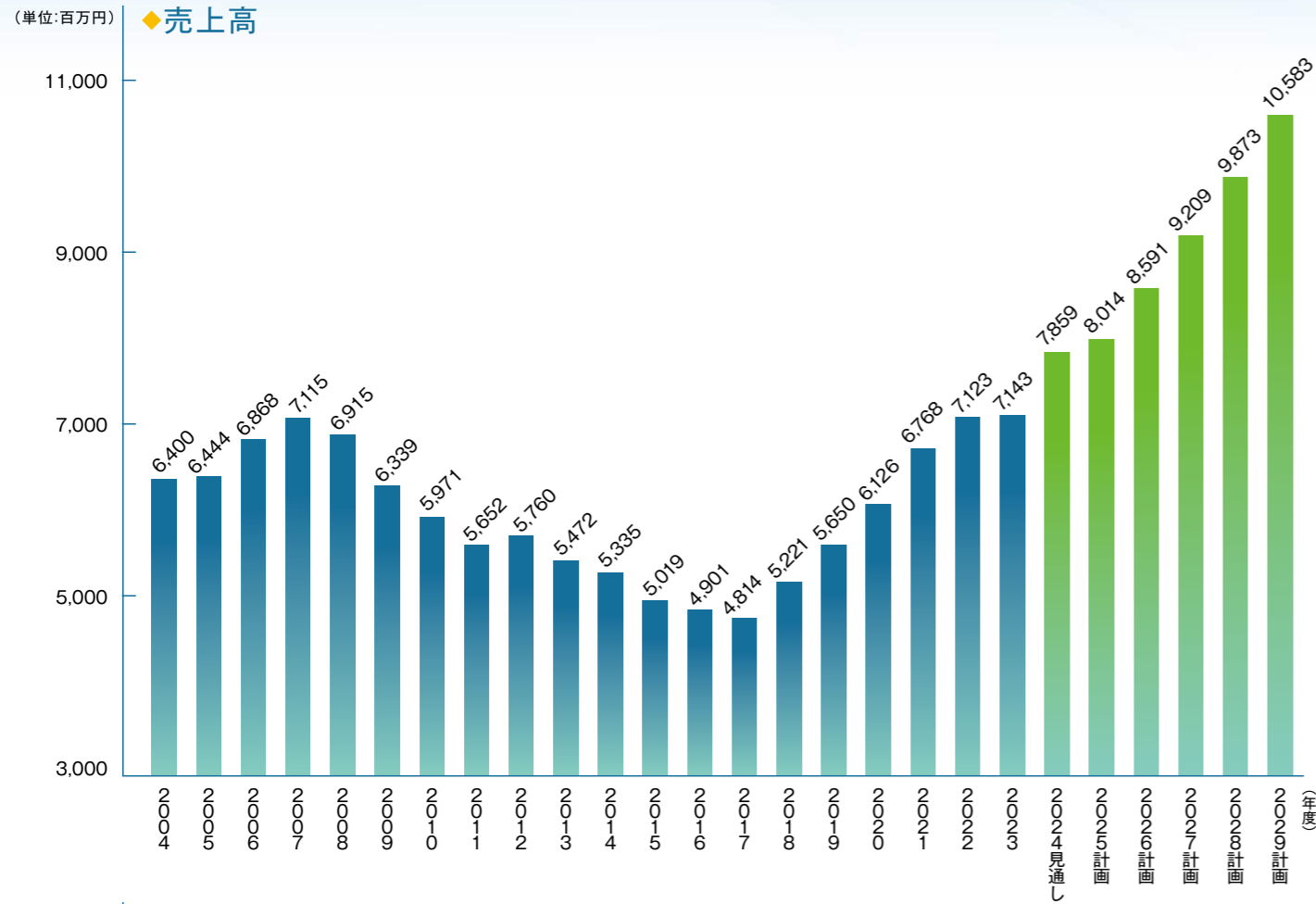


連携強化 (東邦銀行)



企業訪問

業績の推移



コーポレートデータ

グループ会社一覧



創業40周年イベント

リース会社の役割を超えて!!

多様なステークホルダーの皆さまとの連携により新しい価値を共創し、リース会社だけでは実現できない多面的なサービスをお客さまに提供します。東邦リースは、「リース会社の役割を超えて」社会課題の解決と地域経済の持続的な発展に貢献します。

～東邦リースは
「笑顔あふれる福島、希望に満ちた福島」
のため動き出しています～

グループ会社の状況

(2024年6月末現在)

会社名	所在地	主要業務内容	設立年月	資本金	当行 議決権割合	子会社等 議決権割合
とうほう証券株式会社	福島市大町3番25号	証券業務	2015年8月28日	3,000百万円	100%	0%
株式会社東邦コンサルティングパートナーズ	福島市大町4番4号	事業承継支援業務および M&A支援業務	2022年8月2日	100百万円	100%	100%
東邦リース株式会社	福島市上町5番6号 上町テラス3階	リース業務	1985年3月20日	60百万円	50%	50%
株式会社東邦カード	福島市大町4番4号	クレジットカード業務および 信用保証業務	1985年4月15日	30百万円	50%	50%
株式会社東邦クレジットサービス	福島市大町4番4号	クレジットカード業務および 信用保証業務	1990年7月12日	30百万円	50%	50%
東邦信用保証株式会社	福島市大町4番4号	信用保証業務	1985年3月20日	110百万円	50%	50%
東邦情報システム株式会社	福島市飯坂町平野字桜田3番地4	IT導入企画・開発	1983年10月14日	60百万円	39.6%	60.3%
株式会社とうほうスマイル	福島市飯坂町平野字桜田3番地4	帳票等の印刷・製本業務	2012年3月1日	30百万円	100%	0%
ふるさと産業躍進投資事業有限責任組合	仙台市青葉区中央1丁目6番35号	成長・成熟・再生局面にある 企業への投資業務	2018年9月14日	1,563百万円	—%	—%

関連機関

(2024年6月末現在)

機関名	所在地	設立年月日
一般財団法人とうほう地域総合研究所	福島市大町4番4号	1982年7月1日
公益財団法人東邦銀行教育・文化財団	福島市荒井字横塚3番地の183	1993年4月1日

東邦リース株式会社 創業40周年記念誌

2025年1月1日発行

発行

東邦リース株式会社

本社：〒960-8101 福島市上町5-6 上町テラス3階
TEL 024-521-1441



 東邦銀行グループ
東邦リース株式会社